

【メールシステムウイルス感染に関するお詫び】

この度、弊社メールシステムの一部がウイルスに感染いたしました。

9月15日以降弊社社員の名前をかたった迷惑メールが発信されており、お取引先の皆様には大変ご迷惑おかけいたしました。深くお詫び申し上げます。

今回当社で発見された新種の「EMOTET」の変異種とのことで、9月に入り多方で検出されております。当方、既にサーバ内のウイルスは隔離し、駆除を行いまし、メールは安全に使用できる状態に復帰しております。

また私共、メールの送受信は行っていない状態でございますが、1～2週間程度国外のサーバから迷惑メールの発信が続くことが考えられますので、十分ご注意ください。

下記、ウイルスによる成りすましメールの特徴をお示ししております。このようなメールを受信された場合は、直ちにメールの削除をお願いするとともに、添付ファイルは絶対に開かないでください。添付ファイルを開けない限り、ウイルス感染の可能性はないものと予想されます。

私共とこれまでメール通信を行った方々におかれましては、直ちにご使用のPCで私共からのウイルスの感染がないかご確認いただき、セキュリティソフトでウイルススキャン（新種ウイルスのためスキャン実施については最新の状態で）をお願い申し上げます。

現段階で、EMOTETウイルスの検出ソフトが弊社にございますので、お心当たりの場合には至急下記担当者までご連絡をお願いいたします。感染が疑われる場合にはウイルスワクチン等、至急対応させていただきます。

【成りすましメール4つの特徴】

- ① 発信者の表示名は弊社社員となっても、発信アドレスは「shorelinesci.jp」と異なる意味不明の海外のドメインである。

- ② 意味不明(ただし日本語であることが多いので注意)の題名のWordファイルまたはZipファイルが添付されている。
- ③ メールの件名に「Re:...」、「RE:...」が記されている。
- ④ メール本文で、宛名の前に数字などパスワードが記されている、もしくは弊社社員の表示名および名前(正しいメールアドレス)が表示されている。

今回の感染で皆さまにはご迷惑をおかけし、お手を煩わせることとなり、誠に申し訳ございませんが、至急の対応をお願い申し上げます。

弊社は早急に多重化などの情報セキュリティシステムの強化及びメール送受信における安全確保のための仕組み作りを厳粛に実施し、今後このような事故を起こさないようにいたします。

取り急ぎ、状況のお知らせとお詫びを申し上げます。

この件につきまして、ご不明な点およびお問合せがございましたら、弊社宛ご連絡(042-660-0212)ください。

誤ってファイルを開いてしまった場合の対処方法については、以下のJPCERTコーディネーションセンター(JPCERT/CC)のサイトが参考となります。

「マルウェアEmotetへの対応FAQ」

<https://blogs.jpCERT.or.jp/ja/2019/12/emotetfaq.html>

株式会社 汀線科学研究所
代表取締役 下野 彰夫